

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|--------------------------|------------|------------|
| 事業所番号 | 2276100399 | | |
| 法人名 | 有限会社 稔りの安らぎ | | |
| 事業所名 | グループホーム 稔りの安らぎ (2ユニット合同) | | |
| 所在地 | 掛川市西大淵6803-2 | | |
| 自己評価作成日 | 平成24年1月22日 | 評価結果市町村受理日 | 平成24年3月19日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 x.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=227

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|---------------------|--|--|
| 評価機関名 | 有限会社システムデザイン研究所 | | |
| 所在地 | 静岡県葵区紺屋町5-8 マルシビル6階 | | |
| 訪問調査日 | 平成24年2月10日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

食事内容の充実。調理(昼食・夕食)は通常2名の職員が交代で行なうことで、副食の完成度を高めることができています。管理栄養士1名、副食内容のチェックを行なっています。
・職員のチームワーク。毎日利用者の状況を朝礼で共有して、介護支援を行なっています

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

田園風景の広がるのどかな環境に事業所はある。昨年の目標であった防災面における地域との関係構築は、自治会の加入や自主防災隊の会合への参加と新たな取り組みがなされ、少しずつ進めることができています。開設から8年目を迎え利用者の重度化が進む中、毎日の暮らしにおいて食事が一番の楽しみであることから、多いときには副菜が3~4品と豊富な内容を提供している。利用者のADL低下に伴い、幼稚園の運動会の見学や防災訓練の参加など地域との交流は継続が難しい状況ではあるが、努力を積み重ねてできる限り働きかけている。また4年以上勤務している職員が大半を占めていて、チームワークの良さや利用者との信頼関係の深さも特質のひとつである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|--|---|---|---|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | <input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | <input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | <input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|-----|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I.理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | ・毎月の職員会議で取組んでいます。 ・朝礼で基本理念を唱和し意識の高揚に勤めています。 | 毎朝唱和していると自然と頭に入ってきて、毎日が勉強であるという心構えで日々のケアに取り組んでいる。ミーティングでは利用者一人ひとりが快適に暮らせるように、状態の変化に合わせた支援について話し合っている。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している | ・地域の祭典を見に行きました。 | 踊り、カラオケ、三味線のボランティアが年3～4回訪問してくれる。23年から自治会に加入しているが回覧板は回ってこないため情報は広報にて把握していて、10月に開催する文化展や春と秋の神社祭りなど地域へ出向いている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | ・行なっていません。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | ・防災に關しての現状報告を行ないました。 ・評価に關する取組みは行ないませんでした。 | 市の職員、家族、包括(テーマによって)が参加のほか、区長にもお願いしているが1年で交代してしまうので関係構築がうまく進まない点もある。開催の曜日を変更したり食事を取りながら開催するなどの工夫を凝らしている。今年は2回の開催となったが今後も多くの皆さんに参加してもらえるよう努力が必要と感じている。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | ・定期的に行なっています。事業者会議等。 | 議事録は郵送しているが、連携を密に取るという点では本所へ出向いて顔を合わせるようにしている。事業所連絡会に年4回参加して、市の職員も交えて情報交換や事例検討をしている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | ・行なっていません。 | 研修は行っていないが、職員会議の中で身体拘束について取り上げて話し合っている。他書を及ぼす可能性のある利用者について、他の利用者の安全を確保したり環境を安定させるために、やむを得ず取り組むこともある。現在はそのような対象者がいないので身体拘束は行っていない。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | ・虐待はありません。 ・高齢者虐待防止関連法の学習会は行なっていません | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | ・行なっていません。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | ・入居契約を行なう時に、契約書・重要事項説明書の内容について家族及び利用者に対して説明しています。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ・特に聞く機会は設けていません。運営推進会議の時に聞いています。意見要望は運営に反映させるように努めています。 | 職員がローテーションで勤務しているため、名前と顔が一致しないので名札をつけてほしいという声があり、代替の方法も含めて検討している。家族の目線での意見をもらえるよう、面会時はコミュニケーションを大切にしている。また、意見が職員を活性化させることを家族に伝えて協力をお願いしている。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | ・職員会議の時に意見や提案を聞く機会を設け、運営に反映させています。 | 職員の様子を見ながら個々に話をしている。会議で発言が出ない職員については雑談の中で意見を引き出すよう工夫している。1日の大まかな流れに合わせて職員は協力し合って業務に取り組んでいて、チームワークの良さが表れている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | ・職場環境の整備に努めています。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | ・外部研修は2回。内部研修は実施していません。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | ・事業所連絡会に4回出席して、意見交流等を行ないました。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | ・雑談、世間話等を積極的に行って、困っている事、要望等を聞き出すようにしています。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ・近況をこまめに電話で連絡し、面会時にも状況を報告しています。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ・課題分析を行なって、必要な介護、支援内容を把握してサービスを行なっています。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | ・利用者から教えられることも多く、共に感心したり喜んだりすることで、気持ちを通じ合わせるように心掛けている。 ・生活を共にしながら支えあう関係を築くようにしています。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ・家族が利用者を支えていただけるように、家族への働きかけを行なっています。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ・家族や知人が面会に来てくれるようお願いをしています。 | 遠方の家族には時々手紙や電話を入れて、利用者の様子を伝えている。また実際に現状を見てもらおうよう「また足を運んでください」と言葉を添えている。職員の地道な働きかけによって全く面会に来なかった家族が来てくれたり、友人が訪問してくれたことがある。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | ・気の合う利用者同士を中心に、和が保てるように工夫しています。 ・利用者間のトラブルを未然に防ぐように常に配慮しています。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | ・利用者や家族から相談があれば積極的に相談に乗っています。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | ・一人一人その人なりの生き方に合わせた介護、支援を心掛けています。 | 管理者は日頃から観察することの大切さを職員に伝えていて、利用者の行動や表情から思いを推察したり秘めた思いを汲み取る努力をしている。日々の話し合いの中で情報を共有してケアに取り組み、アセスメントは3ヶ月に1回見直している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ・入居時に本人及び家族から今までの生活歴を聞き把握するようにしています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | ・その人なりの価値観、性格等を十分に把握して介護を心掛けています。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ・計画案を作成した段階で本人、家族と話し合い作成している。家族と面談できないケースは計画を郵送で送り、計画欄の余白に家族の意見を書いて返信してもらうようにしています。 | アセスメントと合わせてモニタリングを行っている。計画作成担当者がモニタリングからプラン作成まで一貫して取り組んでいる。できる限り家族の意見も盛り込んだプランに仕上げるために、面会時を活用して要望を汲み取っている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | ・3ヶ月に1回実施状況のモニタリング及び課題分析を行い計画に反映させるようにしています。 ・状況の変化が見られた時は、その都度介護計画を作成しています。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | ・個別の状況に合わせた介護、支援及び要求に対応したサービスを行なっています。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|---|--------------------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | ・ボランティアの慰問を活用して娯楽内容の充実を図っています。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ・主治医との連携を密にして定期受診、不定期の受診等状況に応じて行なっています。 | 基本的に受診は家族対応としているが現状はほとんど職員が受診支援していて、結果を家族に報告している。家族が連れて行く場合はバイタル表やメモを渡して主治医に的確な指示をもらえるようにしている。医療情報は活動記録、連絡ノートに記載して職員間で共有して有事に備えている。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | ・行なっていません。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | ・主治医又は医療連携室と連携を密に行なっています。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | ・状況に応じて家族に説明して、医療機関の利用や他施設への移行について支援しています。 | 看取りはしない方針であることを家族に説明している。終末期医療に関する同意書(延命措置の希望など)を取っていて、急変時は救急搬送している。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | ・職員会議等で確認しています。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | ・地域との協力体制が築けるように努力しているところだ。 | 歩ける利用者は歩行訓練と避難の意識づけを兼ねて毎日階段の昇降をしている。今年は地域の防災訓練に参加できなかったが事業所の防災訓練と業者による防災設備点検をそれぞれ年2回行っている。今後も時間をかけて地域との協力関係を構築していく必要性を感じている。 | 自主防災隊の協力を得て事業所訓練が実施できるよう期待したい。 |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | ・本人の尊厳を大切にし、言葉掛けに充分配慮している。 | 「利用者本人の前で尊厳を損ねるような話はしない」という決まりがある。名前は名字で呼ぶことが多いが「先生」「お父さん」と利用者が好む呼び方も対応している。馴れ合いの関係にならないよう利用者との距離感に配慮している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | ・自己決定を尊重した介護を行なっています。筆談、身振り手振り等を使って利用者の意見、希望を聞き自己決定できるように支援している。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ・本人の考えや希望を受け入れて、個々のペースに合わせた介護、支援を行なっています。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | ・散髪は2ヶ月に1回。出来るだけ本人の希望を取り入れるようにしています。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | ・食事は職員と一緒に食べています。 ・準備・片付けは職員が行なっています。下膳は出来る人は自分で行なうようにしています。 | 食材は外注で届き、栄養士が利用者の好みに合わせて調理している。彩りや盛り付けにこだわり、食材を買い足して副菜を作ることもある。行事の際は寿司をとり、特別感を味わってもらっている。利用者の食べやすい形態で提供することも工夫している。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | ・栄養、水分摂取については出来ています。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | ・毎食後口腔ケアを行なっています。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | ・自立できていない人は、排泄の間隔を把握してトイレ誘導を行なっています。オムツ使用の人についても、出来るだけトイレでの排泄が出来るように、トイレ誘導を行なっています。 | できるだけトイレで排泄できるよう利用者の状態に合わせて支援している。利用者の自立の部分を大切に、できないことは職員がサポートしている。ココアやアップルティーなど甘みを加えて水分補給を促している。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | ・3日以上便秘が続く人は受診して医師の処方を受けています。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | ・入浴回数は2日に1回行なっています。 | 夕方、夜間の時間の変更のほか、毎日入りたい利用者の希望にも対応している。ほとんどの利用者が職員の声かけの工夫や誘うタイミングで心地よく入浴している。1対1の介助で会話を楽しむ時間にもなっている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | ・本人の睡眠パターンに合わせた支援を行なっています。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | ・行なっています。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | ・潜在能力を引き出すように心がけ、活力ある生活を送れるように支援しています。 ・裁縫、ゲーム、将棋等も取入れて生活内容の充実を図るようにしています。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | ・散歩、日光浴、ドライブを行なっています。 ・外出は家族の協力をお願いしています。 | 車の通りが多いので安全に配慮しながら散歩しているが、散歩に行けない場合でも玄関先に出て外の空気を吸うようにしている。ドライブは福田港や御前崎海岸など景色を楽しむことが多い。買い物に立ち寄った折には、精算を利用者が行うことで社会とのつながりも大切にしている。 | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ・金銭管理が出来る人については行なっていません。現在2名。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ・代筆をしたりダイヤルを回す介助を行なうことで出来る人は行なっています。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ・温度、湿度、採光管理に気をつけ、季節の花等を飾って季節感を感じてもらえるようにしています。 | 田植えの時期は鮮やかな緑が、収穫の時期は黄金色に輝く稲穂が窓いっぱいに広がり美しい景色を楽しむことができる。室内に空気清浄器や温湿度計を設置したり、1日数回換気を行い感染症対策チェックシートで衛生管理意識を高めている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | ・面談室、多目的室を使ったりして居場所作りに工夫しています。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ・本人の希望を取り入れ、家族の協力を得て行なっています。 | 将棋、衣装ケースやテレビなどを持ち込んでいる。また写真や歌の歌詞を貼って趣味を楽しむ利用者もいる。いつでも帰宅できるようにと身支度をきちんとしている利用者もいて、それぞれの部屋に個性が表れている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | ・少しでも出来る事は職員と一緒に行なうようにしています。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|-----|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I.理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | ・毎月の職員会議で取組んでいます。 ・朝礼で基本理念を唱和し意識の高揚に勤めています。 | 毎朝唱和していると自然と頭に入ってきて、毎日が勉強であるという心構えで日々のケアに取り組んでいる。ミーティングでは利用者一人ひとりが快適に暮らせるように、状態の変化に合わせた支援について話し合っている。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している | ・地域の祭典を見に行きました。 | 踊り、カラオケ、三味線のボランティアが年3～4回訪問してくれる。23年から自治会に加入しているが回覧板は回ってこないため情報は広報にて把握していて、10月に開催する文化展や春と秋の神社祭りなど地域へ出向いている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | ・行なっていません。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | ・防災に関しての現状報告を行ないました。 ・評価に関する取組みは行ないませんでした。 | 市の職員、家族、包括(テーマによって)が参加のほか、区長にもお願いしているが1年で交代してしまうので関係構築がうまく進まない点もある。開催の曜日を変更したり食事を取りながら開催するなどの工夫を凝らしている。今年は2回の開催となったが今後も多くの皆さんに参加してもらえるよう努力が必要と感じている。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | ・定期的に行なっています。事業者会議等。 | 議事録は郵送しているが、連携を密に取るという点では本所へ出向いて顔を合わせるようにしている。事業所連絡会に年4回参加して、市の職員も交えて情報交換や事例検討をしている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | ・2名の利用者について、家族に説明して承諾書を交わして拘束を行なっている。 | 研修は行っていないが、職員会議の中で身体拘束について取り上げて話し合っている。他書を及ぼす可能性のある利用者について、他の利用者の安全を確保したり環境を安定させるために、やむを得ず取り組むこともある。現在はそのような対象者がいないので身体拘束は行っていない。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | ・虐待はありません。 ・高齢者虐待防止関連法の学習会は行なっていません | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | ・行なっていません。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | ・入居契約を行なう時に、契約書・重要事項説明書の内容について家族及び利用者に対して説明しています。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ・特に聞く機会は設けていません。運営推進会議の時に聞いています。意見要望は運営に反映させるように努めています。 | 職員がローテーションで勤務しているため、名前と顔が一致しないので名札をつけてほしいという声があり、代替の方法も含めて検討している。家族の目線での意見をもらえるよう、面会時はコミュニケーションを大切にしている。また、意見が職員を活性化させることを家族に伝えて協力をお願いしている。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | ・職員会議の時に意見や提案を聞く機会を設け、運営に反映させています。 | 職員の様子を見ながら個々に話をしている。会議で発言が出ない職員については雑談の中で意見を引き出すよう工夫している。1日の大まかな流れに合わせて職員は協力し合って業務に取り組んでいて、チームワークの良さが表れている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | ・職場環境の整備に努めています。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | ・実施していません。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | ・事業所連絡会に4回出席して意見交換等を行なっています。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | ・雑談、世間話等を積極的に行って、困っている事、要望等を聞き出すようにしています。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ・近況をこまめに電話で連絡し、面会時にも状況を報告しています。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ・課題分析を行なって、必要な介護、支援内容を把握してサービスを行なっています。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | ・利用者から教えられることも多く、共に感心したり喜んだりすることで、気持ちを通じ合わせるように心掛けている。 ・生活を共にしながら支えあう関係を築くようにしています。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ・家族が利用者を支えていただけるように、家族への働きかけを行なっています。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ・家族や知人が面会に来てくれるようお願いをしています。 | 遠方の家族には時々手紙や電話を入れて、利用者の様子を伝えている。また実際に現状を見てもらおうよう「また足を運んでください」と言葉を添えている。職員の地道な働きかけによって全く面会に来なかった家族が来てくれたり、友人が訪問してくれたことがある。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | ・気の合う利用者同士を中心に、和が保てるように工夫しています。 ・利用者間のトラブルを未然に防ぐように常に配慮しています。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | ・利用者や家族から相談があれば積極的に相談に乗っています。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | ・一人一人その人なりの生き方に合わせた介護、支援を心掛けています。 | 管理者は日頃から観察することの大切さを職員に伝えていて、利用者の行動や表情から思いを推察したり秘めた思いを汲み取る努力をしている。日々の話し合いの中で情報を共有してケアに取り組み、アセスメントは3ヶ月に1回見直している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ・入居時に本人及び家族から今までの生活歴を聞き把握するようにしています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | ・その人なりの価値観、性格等を十分に把握して介護を心掛けています。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ・計画案を作成した段階で本人、家族と話し合い作成している。家族と面談できないケースは計画を郵送で送り、計画欄の余白に家族の意見を書いて返信してもらうようにしています。 | アセスメントと合わせてモニタリングを行っている。計画作成担当者がモニタリングからプラン作成まで一貫して取り組んでいる。できる限り家族の意見も盛り込んだプランに仕上げるために、面会時を活用して要望を汲み取っている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | ・3ヶ月に1回実施状況のモニタリング及び課題分析を行い計画に反映させるようにしています。 ・状況の変化が見られた時は、その都度介護計画を作成しています。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | ・個別の状況に合わせた介護、支援及び要求に対応したサービスを行なっています。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|---|--------------------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | ・ボランティアの慰問を活用して娯楽内容の充実を図っています。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ・主治医との連携を密にして定期受診、不定期の受診等状況に応じて行なっています。 | 基本的に受診は家族対応としているが現状はほとんど職員が受診支援していて、結果を家族に報告している。家族が連れて行く場合はバイタル表やメモを渡して主治医に的確な指示をもらえるようにしている。医療情報は活動記録、連絡ノートに記載して職員間で共有して有事に備えている。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | ・行なっていません。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | ・主治医又は医療連携室と連携を密に行なっています。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | ・状況に応じて家族に説明して、医療機関の利用や他施設への移行について支援しています。 | 看取りはしない方針であることを家族に説明している。終末期医療に関する同意書(延命措置の希望など)を取っていて、急変時は救急搬送している。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | ・職員会議等で確認しています。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | ・地域との協力体制が築けるように努力しているところだ。 | 歩ける利用者は歩行訓練と避難の意識づけを兼ねて毎日階段の昇降をしている。今年は地域の防災訓練に参加できなかったが事業所の防災訓練と業者による防災設備点検をそれぞれ年2回行っている。今後も時間をかけて地域との協力関係を構築していく必要性を感じている。 | 自主防災隊の協力を得て事業所訓練が実施できるよう期待したい。 |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | ・本人の尊厳を大切にし、言葉掛けに充分配慮している。 | 「利用者本人の前で尊厳を損ねるような話はしない」という決まりがある。名前は名字で呼ぶことが多いが「先生」「お父さん」と利用者が好む呼び方も対応している。馴れ合いの関係にならないよう利用者との距離感に配慮している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | ・自己決定を尊重した介護を行なっています。筆談、身振り手振り等を使って利用者の意見、希望を聞き自己決定できるように支援している。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ・本人の考えや希望を受け入れて、個々のペースに合わせた介護、支援を行なっています。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | ・散髪は2ヶ月に1回。出来るだけ本人の希望を取り入れるようにしています。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | ・食事は職員と一緒に食べています。 ・準備・片付けは職員が行なっています。下膳は出来る人は自分で行なうようにしています。 | 食材は外注で届き、栄養士が利用者の好みに合わせて調理している。彩りや盛り付けにこだわり、食材を買い足して副菜を作ることもある。行事の際は寿司をとり、特別感を味わってもらっている。利用者の食べやすい形態で提供することも工夫している。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | ・栄養、水分摂取については出来ています。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | ・毎食後口腔ケアを行なっています。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | ・自立できていない人は、排泄の間隔を把握してトイレ誘導を行なっています。オムツ使用の人についても、出来るだけトイレでの排泄が出来るように、トイレ誘導を行なっています。 | できるだけトイレで排泄できるよう利用者の状態に合わせて支援している。利用者の自立の部分を大切に、できないことは職員がサポートしている。ココアやアップルティーなど甘みを加えて水分補給を促している。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | ・3日以上便秘が続く人は受診して医師の処方を受けています。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | ・入浴回数は夏季は2日に1回。それ以外の季節は3日1回の入浴を行なっています。 | 夕方、夜間の時間の変更のほか、毎日入りたい利用者の希望にも対応している。ほとんどの利用者が職員の声かけの工夫や誘うタイミングで心地よく入浴している。1対1の介助で会話を楽しむ時間にもなっている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | ・本人の睡眠パターンに合わせた支援を行なっています。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | ・行なっています。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | ・潜在能力を引き出すように心がけ、活力ある生活を送れるように支援しています。 ・裁縫、ゲーム、将棋等も取り入れて生活内容の充実を図るようにしています。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | ・散歩、日光浴、ドライブを行なっています。 ・外出は家族の協力をお願いしています。 | 車の通りが多いので安全に配慮しながら散歩しているが、散歩に行けない場合でも玄関先に出て外の空気を吸うようにしている。ドライブは福田港や御前崎海岸など景色を楽しむことが多い。買い物に立ち寄った折には、精算を利用者が行うことで社会とのつながりも大切にしている。 | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ・金銭管理が出来る人については行なっていません。現在1名。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ・代筆をしたりダイヤルを回す介助を行なうことで出来る人は行なっています。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ・温度、湿度、採光管理に気をつけ、季節の花等を飾って季節感を感じてもらえるようにしています。 | 田植えの時期は鮮やかな緑が、収穫の時期は黄金色に輝く稲穂が窓いっぱいに広がり美しい景色を楽しむことができる。室内に空気清浄器や温湿度計を設置したり、1日数回換気を行い感染症対策チェックシートで衛生管理意識を高めている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | ・面談室、多目的室を使ったりして居場所作りに工夫しています。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ・本人の希望を取り入れ、家族の協力を得て行なっています。 | 将棋、衣装ケースやテレビなどを持ち込んでいる。また写真や歌の歌詞を貼って趣味を楽しむ利用者もいる。いつでも帰宅できるようにと身支度をきちんとしている利用者もいて、それぞれの部屋に個性が表れている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | ・少しでも出来る事は職員と一緒に行なうようにしています。 | | |